工業外国語(Engineering English)

学科・学年	機械工学科・5年	単位・期間	必修2単位・通年週2時間(授業時間60時間)		
担当教員	永野茂憲	連絡先	機械工学科棟1階　永野研究室	オフィスアワー	月9限

【授業目的】
1. 機械工学に関する英文献や英文技術資料の内容を理解する力を身につける。
2. 英文献の内容を理解し，概要を説明する力を身につける。

【履修上の注意】
1. 英和辞書を持参すること。
2.パワーポイントを使用し論文紹介を行うため、使用できるよう準備しておくこと。

【事前に行う準備学習や自己学習】
1. 分からない英単語等は自ら調べて理解すること。
2. 事前に配布した英文課題等を翻訳して授業を進めるため，予習・復習をしっかりと行うこと。

【授業の内容】

授業要目	内　容	時間
授業計画の説明	授業計画・達成目標・成績の評価方法等の説明	1
1. 基本的な工学共通英語	工学一般の英文と専門用語を理解する。 The international system of units, Line and angle, Curve, Scalar and vector, etc.	7
2. 基礎的な工業英文の読解	基礎的な工業英文について，単語の意味や文法を理解し，読解する。	7
前期中間試験		1
試験答案の返却及び解説	試験問題の解説及びポートフォリオの記入	1
3. 基礎的な工業英文の読解	基礎的な工業英文について，単語の意味や文法を理解し，読解する。	6
4. 機械工学に関する英文問題の演習	FE(Fandamentals of Engineering，日本の技術士補に相当する米国の技術者認定資格)試験において出題される基礎的な機械工学に関する英文問題の演習を通して，基礎的な機械工学用語を学習する。	6
前期末試験		(1)
試験答案の返却及び解説	試験問題の解説及びポートフォリオの記入	1
5. 機械工学に関する英文献の読解	機械工学に関する英文献を読解する。	7
6. 英語技術資料の読解	実験装置等の仕様書や取扱説明書といった英語技術資料を読解する。	7
後期中間試験		1
試験答案の返却及び解説	試験問題の解説及びポートフォリオの記入	1
7. 工学英語文献の調査・発表①	最新の工学英語文献を調査し，その内容をまとめ発表する。	7
8. 工学英語文献の調査・発表②	最新の工学英語文献を調査し，その内容をまとめ発表する。	6
試験答案の返却及び解説	試験問題の解説及びポートフォリオの記入	1
	合計時間	60

【達成目標】
1. 機械工学に関する英文献や英文技術資料の内容を理解する力を身につける。
2. 英文献の内容を理解し，概要を説明する力を身につける。
3. 基礎的な機械工学専門用語を覚え，活用できる能力を身につける。
4. 工業英検3級合格程度の英語力を身につける。

【成績の評価方法】
最終評価点は，前期中間試験結果(25%)，前期末試験結果(25%)，論文プレゼンテーション(25%)，レポート(25%)により評価する。ただし，レポート未提出がある場合は最終評価より減点する。

【評価基準】
学年成績60点以上を合格とする。

【教科書】
適宜プリント等を配布する。

【参考書】
日本工業英語協会編 「工業英検3級対策」
その他，図書館に各種あり

【学習・教育目標との対応】　(B)　【JABEE基準との対応】　(d)

ポートフォリオ

＜記入上の注意＞

【理解の度合】(記入例)ファラデーの法則、交流の発生についてはほぼ理解できたが、渦電流についてはあまり理解できなかった。

【試験の結果】定期試験の点数を記入し、試験全体の総評をしてください。(記入例)ファラデーの法則に関する基礎問題はできたが、応用問題が解けず、理解不足だった。

【総合達成度】では、【達成目標】どおりに目標を達成することができたかどうか、記入してください。

【授業計画の説明】(実施状況の記入)

【理解の度合】(教員は授業の実施状況を記入)

【試験の結果】 試験の点数(　　)

【試験の結果】 試験の点数(　　)

【理解の度合】(教員は授業の実施状況を記入)

【理解の度合】(教員は授業の実施状況を記入)

【試験の結果】 試験の点数(　　)

【理解の度合】(教員は授業の実施状況を記入)

【総合達成度】 総合評価の点数(　　)

【評価の実施状況】総合評価を出した後に、教員が記入してください。